



## 笑顔あふれる泉大津市!!

笑顔でこどもがのびのび遊べる広場を！  
笑顔で挨拶が飛び交う町を！  
笑顔でみんなが助け合う町を！

# ～『市政報告会』開催のご案内～

林哲二『市政報告会』を行います！

**日時：7月10日（金）**

**午後7時30分 開始**

**場所：松之浜長寿園**

皆様のご参加お待ちしております。

## 今回の新型インフルエンザによる一連の騒動は何だったのか？

市では、5月18日から5月24日までの一斉休校というすばやい行動をとりましたが、結局幸いにして泉大津市では新型インフルエンザの感染者は今もって出ておりません。しかしながら、全国的には現在進行形で感染者は増えており、6月25日の時点では、ついに1,000名を突破しました。

世界的にも、これから冬に入る北半球のオーストラリア・チリ・アルゼンチンといった国々で、加速度的に感染者が増えています。そして、秋以降には第2波といわれる流行が必ずや又襲ってくるだろうと言われております。通常なら、梅雨時の現在から夏場にかけてインフルエンザウイルスは活動を弱めるはずで

今回の新型に関しては、感染力が強いようで、未だ、広がりを見せております。若干戸惑いを感じますが、病原性に関してはそれほど強くない弱毒性といわれるH1N1であり、実際に感染者の中での死亡例は国内ではありませんし、重体になることもないようです。

万が一、発熱や咳、それらの症状が出た場合でも、慌てずに、落ち着いてまず発熱相談センターへ電話で対応を伺いましょう。

## 備えあれば憂いなし

もし、第2波が襲って来た時に、強毒性にウイルスが変異している場合もないとはいえません。あのスペインインフルエンザも、春先から広がった第1波ではたいしたことはなかったのですが、その秋以降に襲ってきた第2波によって、大量の死者を出す事態となったのです。したがって、万が一、強毒性に変異したウイルスが襲ってきた場合は、今回のような、学校一斉休校どころか、ほとんどすべての市民が家から出ないようにしなければいけない事態も起こりえると思います。

そんな場合に備えて、やはり最低でも2週間分の食料は備蓄しておくべきだと思います。これは、何もインフルエンザにだけ備えるのではなく、それこそ、東南海地震のような大地震がおきた場合にも役立つはずで

今回のマスク騒動でもそうでしたが、やはり普段からそれぞれの方が危機管理については意識を持って自分で出来ることは自分ですするという姿勢が大事だと思います。市役所にだけ頼るのではなく、あくまで自分で出来ることは最低限備えておきましょう。

## 一般質問にて

私は、昨年1月より新型インフルエンザについては、市にやかましく、新型インフルエンザ対策行動計画を作れだの、市のホームページで新型インフルエンザについて啓発してほしいだのと訴えてまいりました。

また一般質問も6月と10月の2回にわたり、新型インフルエンザについて質問・提案をしてきました。当初はH5N1の強毒性鳥インフルエンザから、人人感染が広がり新型インフルエンザとなることを想定して話しておりましたが、今回は豚からのH1N1弱毒性のインフルエンザが人人感染を広げ、あっというまにフェーズ6まで引きあがりました。

そこで、6月の定例会での一般質問は、今回の新型インフルエンザに対し、泉大津市役所の対応で反省点はどこかを検証し、また今後襲って来るといわれている第2波には今回の反省点を踏まえて万全を期すよう要望しました。